

もっと知りたい!



つくば市イメージ
キャラクター
フックン船長

つくば市 ばん

かわら版



つくば市長 五十嵐立青

2021年7月15日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ

周辺地域のまちづくりのこと、もっと知りたい!

つくば市では、つくばエクスプレス沿線で開発が進み、市全体では人口が増加していますが、周辺地域では若年層の地域離れや高齢化などが進み、地域コミュニティの活力低下が課題となっています。そのような中、周辺地域からは「自分たちの地域にも、もっと目を向けてほしい」という声をいただくようになりました。

こういった現状から、市は、周辺地域の元気をもう一度取り戻したいと考えました。そこでまず、町村合併以前からの地域の身近な生活拠点である「周辺市街地」と呼ばれる市街地からまちづくりに取り組むことから始めました。

そしていま、周辺市街地では地域の皆さんが主役となってまちづくりを行う機運が高まりを見せています。今回はその取り組みについて紹介します。

■ 周辺市街地振興課



ギモン

01

周辺市街地の元気を取り戻すって どういうこと?



そもそも周辺市街地ってどこのこと?



そうですね、まずはそこから確認しましょう。合併して「つくば市」になる前の時代に、生活の拠点として栄えてきた地域で、それぞれいまは市の周辺部にあることから、「周辺市街地」と呼んでいます。具体的には、北条、小田、大曾根、吉沼、上郷、栄、谷田部、高見原を中心とした8つの地域をいいます。

※市は、8地域をR8(リージョンエイト)と愛称で呼んでいます。



なぜ周辺市街地の元気を取り戻そうとしているの?



いま、日本中で人口が減ってしまい、みんな困っていますよね。つくば市も、いまでこそ、主につくばエクスプレス沿線で人口が増えていますが、そう遠くない将来、同じことになるかもしれません。つくば市をこの先もずっと住みよいまちにするためには、周辺市街地が元気を取り戻し、つくば市全体が活性化していくことが必要だと思っています。

歴史や文化、豊かな自然といったかけがえのない魅力を持っている周辺地域。最近では、そんな周辺地域に魅了され、衣食住などさまざまな分野で自ら仕事をつくり、地域ならではのサービスを提供する方が増えてきました。それらの魅力を知った人たちが、周辺市街地に足を運んでくれます。そのように、中心から周辺への人の流れを生み出す「遠心力」を働かせることで、市全体が、住み心地よく、活気を感じられる。そんなまちにしたいと思い、地域の魅力を生かして地域の人たちと共に「地域住民主体のまちづくり」を進めています。



次ページで、周辺市街地活性化に向けた取り組みを見てみよう!

ギモン 02 周辺市街地が元気になるための取り組み、もっと知りたい!

まちづくりって自分たちでやらないといけないの? 市ではやってくれないの?

市では、道路や上下水道など、地域の皆さんに欠かせないものの整備を一生懸命やっています。でも、残念ながら、すべてをやるには人もお金も足りないんです…。そして、地域のことは、その地域の皆さんがいちばんよく知っていますので、そこに住んでいる皆さんは、「自分たちのまちをどういうまちにしたいのか」「そのために何をすべきなのか」という考えを持っていると思います。もちろん地域の皆さんだけでは難しいこともありますよね。そこで、市や大学、民間事業者などが皆さんの活動をしっかりとサポートしていく体制を整えていきます。

じゃあ、いま、地域のまちづくりがどのように進んでいるのか教えて!

まず、市は2017年度から、各地域に長く住んでいる方、最近住み始めた方、学生など、まちづくりに関心を持っているさまざまな人たちが参加する「まちづくり勉強会」を各周辺市街地で開催しました。そこでは、それぞれの地域の良いところや課題、どういふ地域にしていけばいいのかといった話し合いが行われ、まちづくりを進めていくために、2019年度に「周辺市街地活性化協議会」が各地で設立されました(高見原は、発起人会により今秋の協議会設立に向けて準備しています)。各協議会では、「つくば市周辺市街地活性化チャレンジ補助金制度」を活用して、地域を元気にするさまざまな取り組みが一斉に展開されています。ここでは、それらの一部を皆さんにご紹介します!

地域の居場所作り

地域の皆さんが気軽に訪れることができる場づくりが進められている市街地があります。小田の協議会が、廃校を活用し、地域の皆さんが集ったり、宝篋山への登山客やりんりんロードを走るサイクリストが休憩したりする場所として「小田小交流プラザ」をつくりました。また、栄や谷田部でも、地域の皆さんの手によって交流拠点となる場づくりが進められています。

小田小交流プラザ

開館日▶(金)(土)(日)10:00~17:00

※臨時休館あり。詳細はホームページから。

所在地▶つくば市小田3107(旧小田小学校新校舎内)



マップ・パンフレット制作

自分たちが住む地域のことを知ってもらおうと、各周辺市街地の皆さんを中心に市内のクリエイターや学生も加わり、地域の情報を整理したマップや新聞、パンフレットの制作が行われています。北条では、地域住民向けの情報紙「北条新聞」が発行され、小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部では、地域の歴史やグルメ情報をまとめたマップやパンフレットが制作されました。どれも地域住民自らの手で制作されたもので、地域住民ならではの視点で地域の魅力がまとめられています。

グルメガイドマップを制作した地域では、来訪者が増加したとの声も聞かれています。これらは、市役所1階情報コーナーで入手することができるほか(数に限りがあります)、市ホームページでもデータ化されたものを見ることができます。



「がんばる上郷!かわら版」▶▶

上郷の協議会が、新型コロナウイルスの影響を受けた地元の飲食店を応援するために、パンフレットを制作しました。テイクアウト可能な店舗を中心に、地域住民が、自分たちの足で、1軒1軒、各店舗への取材を重ねて制作しました。

イベント

「食と酒の祭 in 吉沼」

2020年2月、吉沼の協議会が、地元の魅力であるグルメをPRするため「食と酒の祭 in 吉沼」を開催しました。イベント当日は、地域のお店で買い物をお得に楽しむことができるチケットを販売し、来場者に地元の各店舗へ足を運んでもらうきっかけをつくりました。



「伊賀七にんげんまつり(提灯まつり)」

2019年11月、谷田部で、「伊賀七にんげんまつり(提灯まつり)」が開催されました。夜の谷田部商店街に色とりどりに灯された約450個もの提灯による壮大なストリートアートに住民が集い、明かりを見つめながら思い思いに語り合う場となりました。



筑波大生と、北条でまちづくり活動をする有志が合同会社を設立し、古民家を活用して、地域住民のたまり場・地域物産品の販売・ワーキングスペースの要素を併せ持つ店舗「iriai Tempo」をつくりました。地域コミュニティの拠点としてだけでなく、北条地区への新たな呼び水としても期待されています。

iriai Tempo

営業日▶(月)~(土)9:00~18:00

※不定休。詳細はFacebook、instagramを参照。

所在地▶つくば市北条145



03 周辺地域のこれからのこと、もっと知りたい!

地域づくり、やってみたい!でも、どうすれば…?

わかります。地域づくりって、やってみたいと思ってもなかなか一歩目が踏み出せませんよね。そこで市では、周辺市街地での取り組みでわかった地域づくりのやり方を皆さんにも知ってもらえるよう、地域づくりガイドブックを作りました。この冊子を参考に、皆さんの地域でも一緒に始めてみませんか。

地域づくりって、その地域の人しか参加できないの?

そんなことはないですよ!地域づくりに興味・関心をお持ちの人ならどなたでも参加してほしいと思っています。その地域に住んでいる人でなくても、学生、子育て世代、自分の得意分野を生かしたい方など、地域の皆さんと一緒に考え、地域づくりに汗を流してくださる方ならどなたでも大歓迎です!

これまでの取り組みで地域は変わったの?

取り組みを始めたばかりの頃、地域の方からは「うちの地域はもう手遅れだよ」と言われていました。それがいまでは、「私たちの地域に夜明けがきたよ」と言ってくれています。

このような周辺市街地で生まれた盛り上がり、その周りにももっと広げて、つくば市全体を元気なまちにしたいんです。さあ、この流れに乗って、一緒につくばを盛り上げていきましょう!

地域づくりガイドブック

これまでの取り組みから得られたノウハウをまとめた『チャレンジ!地域づくり』、実際に活動する人たちの声をまとめた『つくばのばづくり』を作成しました。これらは市ホームページなどで読むことができます。



各地の魅力が一同に集合!

「R8周辺市街地パネル展」開催

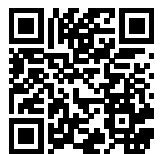
各地域での活動や魅力を紹介するパネル展を開催します。

期間▶ 8月2日(月)~31日(火)

場所▶ 市役所1階中央展示スペース

協力▶ 筑波大学 藤田直子教授

Facebookページ「つくばR8」で最新情報をチェック



地域でいま、輝く人たち

1ページでも触れましたが、周辺地域には自然に囲まれた環境や古民家などを生かしたレストラン、農産物の生産者、パンやお菓子などの食品、日本酒やワインの作り手など、その土地の特色を生かした飲食物やサービスを提供されている方々が数多くいらっしゃいます。そんな、新たな仕事や生活を自らの手でつくるライフスタイルを「クラフトライフ」と呼んでいます。つくばには、クラフトライフを楽しめる場所がたくさんあるんです。こうした手に職をつけた方々が独立・起業をする場所として周辺地域を選んでくれたり、地域のまちづくりに関わる方々ともうまくつながれるように、市では情報発信やお手伝いをしていますので、そのようなことを検討されている方や知り合いの方がいたら、ぜひ相談してみてくださいね。

クラフト 『つくばスタイルCRAFT』

いま、つくばの各地でものづくりを通じて活躍する方々の一部を紹介している冊子です。市役所・各窓口センターで無償配布しているほか、市ホームページでPDF版を閲覧できます。



アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、『もっと知りたい!つくば市かわら版 第3号』をお読みになったご感想などをお寄せください。※各号ごとのアンケートとなっております。



▶ <https://bit.ly/2TUucCw>

いつでもどこでも!

『もっと知りたい!つくば市かわら版』は、パソコン・スマートフォンなどからもご覧いただけます。

